

灯台の自立型電源等整備により、消灯を防止し船舶交通の安全を守る

【対策】63-4 航路標識の耐災害性強化対策(信頼性向上対策)

対策概要: 航路標識の消灯事故等を防止するため、航路標識に使用している機器等について、災害等における安定運用が可能な機器等への換装を実施する。

府省庁名: 国土交通省

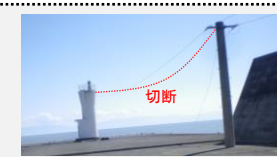
なかこしきどうりゆうていにし
【事例】中甕導流堤西灯台信頼性向上対策

- 実施主体: 国土交通省 海上保安庁
- 実施場所: 鹿児島県薩摩川内市
- 事業概要: 本灯台が消灯すると、夜間、船舶が港の入り口把握が困難になり、安全に船舶が航行することができず、島民生活に影響を及ぼす可能性があることから、台風等においても安定的に灯台機能を維持することが課題となっていた。そのため、災害等に強い灯台機器等の整備(灯台光源のLED化、電源の太陽電池化・電力線路の撤去等)を実施。
- 事業費: 400万円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分) 400万円)
- 効果: 令和4年台風14号では、暴風を伴う波浪(最大波高約6m)を周囲海域で観測したが、波浪によるLED灯器の損壊や消灯被害を防止し、航路標識の機能を維持した。



電柱の倒壊

(H23.9 田子の浦港西防波堤灯台)



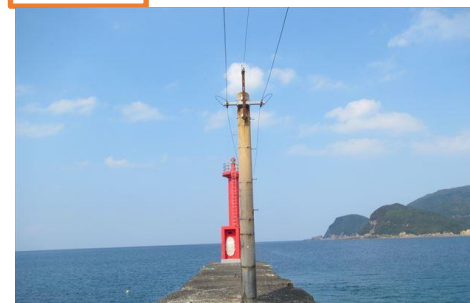
電力線の切断

(H24.10 用宗港沖西防波堤東灯台)

【消灯事故の発生事例】
台風等に伴う暴風・波浪により電柱の倒壊や電力線の切断、商用電源の停電等が発生し航路標識の消灯事故等が発生。

なかこしきどうりゆうていにし
中甕導流堤西灯台

対策前

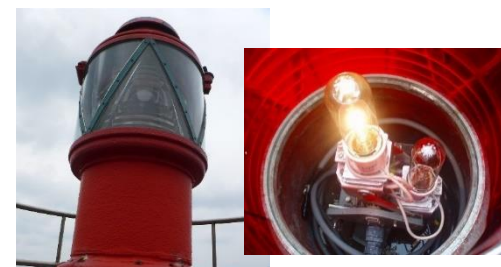


電力線路

対策後



太陽電池パネル



白熱電球



LED灯器